

中学校部活動地域展開だより No 7

横手市教育委員会 教育指導課 ☎0182-35-2123

目指す姿

将来にわたり 子どもたちが身近で

スポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境づくり

本市の方針

- 適正な運営により、生徒の健やかな心身の成長を図る
- 教師の負担軽減を図り、より生徒に向きあえる環境作り
- 地域の実情を踏まえた、持続可能で多様な環境づくり
- 生徒、保護者、地域の主体的な取組を通して「みんなの力で未来を拓く 人と地域が燦くまち」作りに貢献する
- 学校と地域が連携・協働し、横手市のスポーツ・文化芸術の発展・創造を主体的に形成していく

子どもたちの活動の場の地域展開

ニーズに応じた選択肢の拡充

★多様性×持続性
★「学校教育の一環から生涯学習の一環へ」⇒部活動観の転換



「横手市中学校剣道稽古会」 今シーズン終了！

今年度も、横手市剣道連盟が実施主体となり、中学校総合体育大会終了後の6月から始まった剣道稽古会も11月1日（土）の稽古会をもって終了しました。休日の部活動地域連携事業として、昨年度から実施しているものです。

今年度は、生徒の希望を生かして、基本稽古の段階から剣道経験者と初心者に分かれ、一人一人のニーズや経験値に応じた細やかな助言・指導と、経験を重ねるにつれ全体稽古に力をいれるところが印象にのこりました。さらには、昇段審査に向けた特別稽古も工夫され充実した稽古会になりました。

毎回10数名の剣道連盟の皆様からの指導・助言により、新たな気づきが得られ、自分の課題や疑問の解決に繋がり、平日の部活動練習に生かしていくよいサイクルになっていると感じます。

さらには、市内中学校の剣道部員が一同に会しての稽古は、自ずと意識が高まり、沢山の相手との稽古を通して、自らの長所や短所と向き合い、より高みを目指す励みになっていると強く感じます。

とはいえ、剣道連盟におかれましては、継続して指導できる指導者の不足が課題となっており、今後、稽古会の回数を増やして、休日の部活動地域展開を進めていくことはなかなか難しい現状です。

剣道連盟では、「これまでの稽古会を通して生徒や保護者の願い・意見を踏まえ、また参加者と主催者両者の負担軽減を図り、持続可能な地域活動を目指し、稽古会の在り方を探っていきたい」とお話をいただきました。

今シーズンも、ありがとうございました。

